

平成21年度 南幌町地球温暖化防止実行計画に向けた取り組み状況について

地球温暖化防止に関する国際的な取り組みとして、気候変動に関する国際連合枠組条約があり、1997年(H9)12月に地球温暖化防止京都会議(COP3)が開催され、京都議定書が採択されました。この中で我が国については、温室効果ガスの総排出量を2008年(H20)から2012年(H24)までの間に1990年(H2)比で6%削減するとの目標が定められました。

このことから、町では、事務事業に伴い自ら排出する温室効果ガスの削減を図ることを目的とし2007年(H19)1月に「南幌町地球温暖化実行計画」を策定し、職員による地球温暖化防止に向けた取り組みを行っております。

「南幌町地球温暖化実行計画」では、温室効果ガスのうち、二酸化炭素(CO₂)の総排出量を2005年(H17)基準年度と比較し、2010年(H22)までに6%の削減率を目標値にしています。

1 平成21年度の対象施設・公用車

算定対象範囲は、職員が直接実施する町の事務事業すべてとしています。

指定管理制度などによる施設の運営管理にかかる温室効果ガス排出量を除外するとともに、単独取り組みとする町立病院は、本年度(H21)報告より除外しています。

【対象施設一覧】

分類	施設名
総務課	役場庁舎、夕張太ふれあい館
保健福祉課	保健福祉総合センター
まちづくり課	ふるさと物産館
産業建設課	総合保安センター、柳陽団地集会場、農業農村整備事業推進本部
生涯学習課	南幌小学校、みどり野小学校、夕張太小学校、南幌中学校
学校給食センター	学校給食センター
公民館	公民館、農村環境改善センター
スポーツセンター	スポーツセンター、町営プール
消防支署	消防支署
公用車	公用車（建設機械も含む）、※除雪機、草刈機は除く

※ 中央公園管理棟、リバーサイド遊友館、ふきの塔は、平成19年度より三重レークハウス、町立病院は、本年度(H21)から除外しております。

※ 対象施設：16施設 対象公用車：47台

2 二酸化炭素(CO₂)総排出量の変更について

電気の排出量係数の変更により基準年2005年(H17)、目標値2010年(H22)の二酸化炭素(CO₂)総排出量及び実績数値(平成18.19.20年度)を次の通り再計算しています。

また、本年度三重レークハウス、町立病院の対象除外により全ての総排出量の再計算を行いました。

◎電気の排出量係数

当初(平成17年度)0.502→平成19年度0.517→平成20年度0.479

【温室効果ガスの削減目標の変更】

種 類	基準年度総排出量(kg-CO2) 【平成 17 年度】		削減目標	目標年度総排出量(kg-CO2) 【平成 22 年度】	
	当初			当初	
二酸化炭素 CO2	当初	3,036,598	6 %	当初	2,854,397
	H19変更後	3,040,010		H19変更後	2,857,603
	H20変更後	2,966,685		H20変更後	2,788,678
	H21変更後	2,322,478		H21変更後	2,183,130

【温室効果ガス実績数値の変更】

平成 18 年度実績 総排出量(kg-CO2)		削減 率(%)	平成 19 年度実績 総排出量(kg-CO2)		削減 率(%)	平成 20 年度実績 総排出量(kg-CO2)		削減 率(%)
H18	2,966,685	2.4						
H19変更後	2,970,386	2.1	H19	3,062,413	+0.7			
H20変更後	2,895,618	2.4	H20変更後	2,988,584	+0.7	H20	2,779,292	6.3
H21変更後	2,210,042	4.8	H21変更後	2,325,234	+0.2	H21変更後	2,131,481	8.2

3 平成 21 年度南幌町の事務事業から排出された温室効果ガスの量

平成 21 年度の対象施設及び公用車等の活動による燃料や電気の使用などによる二酸化炭素(CO2)の総排出量は、2,172.9t-CO2 で、平成 17 年度と比べ 149.5 t-CO2 ・ 6.4%の削減となりました。

- ・ ガソリン -7.5 t-CO2 △15.4% ハイブリッド車の導入、徒歩や自転車利用と考えられる。
- ・ 軽 油 -38.6 t-CO2 △24.4% 除雪作業出動回数の減と考えられる。
- ・ 灯 油 -18.3 t-CO2 △10.5% ペレットストーブ試験導入による減と考えられる。
- ・ A 重油 -37.1 t-CO2 △ 2.9% 適切な温度管理によるものと考えられる。
- ・ LP ガス -0.8 t-CO2 △11.6% ガス給湯器の退所時の消忘れ防止徹底と考えられる。
- ・ 電 気 -47.2 t-CO2 △ 6.9% 不必要な照明の消灯の徹底によるものと考えられる。

【基準年 2005(平成 17 年)と実績年 2009(平成 21 年)の比較】

項 目	基準年【H17】		目標値【H22】		実 績【H21】		
	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	削減率% 17 比較
ガソリン	20,907 ㍓	48,539	19,653 ㍓	45,627	17,689 ㍓	41,067	△15.4
軽 油	60,305 ㍓	157,953	56,687 ㍓	148,477	45,569 ㍓	119,355	△24.4
灯 油	69,685 ㍓	173,479	65,504 ㍓	163,071	62,323 ㍓	155,153	△10.5
A 重油	463,800 ㍓	1,256,726	435,972 ㍓	1,181,322	450,100 ㍓	1,219,604	△2.9
LPガス	2,468 m ³	7,404	2,320 m ³	6,960	2,181 m ³	6,544	△11.6
電 気	1,416,236kwh	678,377	1,331,260kwh	637,673	1,317,778kwh	631,216	△6.9
合 計		2,322,478		2,183,130		2,172,939	△6.4

4 温室効果ガスの削減に向けて

H21 年度、町の事務事業による公共施設・公用車等の温室効果ガス(CO2)の総排出量は、2,172.9t-CO2 で基準年 2005 年(H17)比 149.5 t-CO2・6.4%の削減となりましたが H20 年度実績と比較しますと 1.8%の増となりました。

H20 年度の削減した主な要因は冬期間の温暖気候、降雪量の減により、施設の A 重油・灯油、除雪機械の軽油使用量が減少したためと気象状況によるものであり H21 年の実績とは単純に比較はできないと考えます。

H17 年基準年度と比較すると全体の燃料や電気の使用量が減少しており職員の地球温暖化対策への意識向上、努力の成果と思われる。

今後も引き続き全職員の協力を願うため地球温暖化対策に関する啓発活動を計画的に実施いたします。

【温室効果ガス排出量の推移】

(kg-CO2)

